

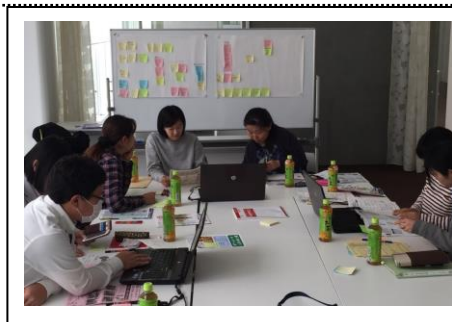
平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	オープンデータを活用した地域課題解決型サービスの充実
事業主体 (連絡先)	塩尻市 企画政策部情報政策課 電話 0263-52-0659 小澤
事業区分	4 安心・安全な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2, 142, 320円 (うち支援金: 1, 452, 000円)

事業内容

平成27年度に採択を受けた「オープンデータを活用した地域課題解決型サービスの提供」で実施した内容をさらに拡大し、サービスの充実や、オープンデータを分析しサービスへつなげるデータサイエンティスト教育等を実施することで、子育て支援や青少年のICT人材への教育を行った。

1. オープンデータ活用基盤整備
子育てサイト活用体験型講座 7月～2月全8回開催
2. データサイエンティスト育成型オープンデータ分析集中教育
11月～1月 全3回(6日)開催



【情報収集分析の様子】

【目標・ねらい】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. より密接な子育て情報発信を地域一体で行うことを目的に、オープンデータのデータ整合性を検証するワークショップを住民と市職員住民参画により行った結果、住民のオープンデータの理解が進み、情報収集分析力が高まりました。
2. 小中学生のデータ分析技術育成を目的に、超小型PCのRaspberry piを利用した、温湿度センサー測定プログラミングとインターネットを利用した情報の収集、AI講座を行った結果、データの有益性の学習やより高度な情報分析の実例を知り、さらなる興味につながりました。

- ① 子育て世代によるオープンデータの理解とデータ分析、活用効果の学習。
- ② 住民参画により、地域コミュニティの形成。
- ③ 若手人材によるデータの有益性の学習。

※自己評価【A】

【理由】

市民と協働による事業推進が実施できたこと、データサイエンスにおいて、小中学生の参加、知識の習得が多かった点が想定以上。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

1. オープンデータを活用した情報発信を、地域が一体となりデータの分析・整備を進めることを実施した本モデルを、様々な分野に転用することで、地域課題解決と地域のボランティアコミュニティ形成の発展を促す。
2. 若手人材が早い段階からオープンデータへの興味とデータ分析技術を身につけることで、地域のICT技術者育成につなげる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある